

鳥取市財政概況報告書

26.12.31現在

鳥取

鳥取市西町
発行所 鳥取市役所
編集者 鳥取市文化室
印刷所 馬場印刷所

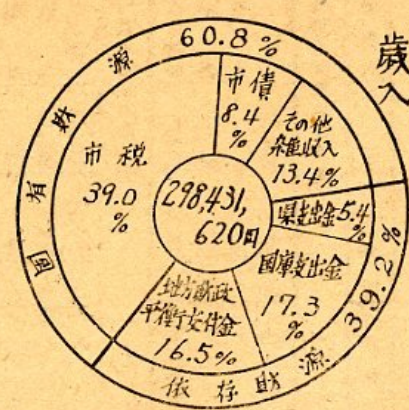
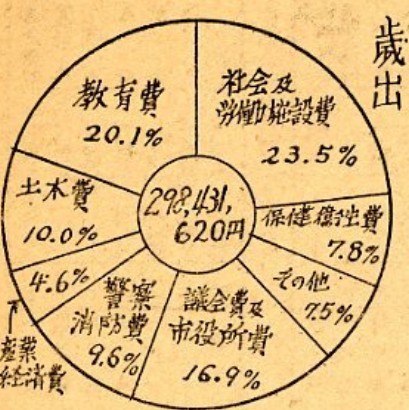
臨時号

ま え が き

財政概況報告書作成及公表に関する條例により既に七回に亘り財政概況を日本海新聞に公表して参りましたが本年より鳥取市広報が設けられましたので別途に具体的に報告致し度いと考へます。

私生活に於いて如何に科学的な構想に基づいて文化的な生活を営むことなほ考へなつても家庭の経済が許さなければ何事も實行出来ないと同時に地方自治行政も財政が安定して始めて充分な活動が出来るものであります。

以下項を追つて述べます様に鳥取市の財政の現状は決して楽なものではありませんが不十分なながらもこれを充分に活用し最善の経費で最大の効果が擧がるよう最善の努力を致して居る次第でありますから市民の皆様にも市の財政の進展に御協力をお願いし御願ひ致します。



昭和二十六年当り豫算について

| 会計別 | 当初豫算額 | 追加更正額 | 現計豫算額 |
|-------|------------|-----------|------------|
| 一般会計 | 26,581,800 | 1,010,710 | 27,592,510 |
| 水道会計 | 5,828,200 | 1,171,200 | 7,000,000 |
| 病院会計 | 3,391,000 | 6,630,000 | 10,021,000 |
| 国保会計 | 3,254,900 | 6,630,000 | 9,884,900 |
| 基本財産費 | 2,795,000 | 6,831,100 | 9,626,100 |
| 區畫整理費 | 1,333,500 | 6,831,100 | 8,164,600 |
| 合計 | 27,735,500 | 1,813,710 | 29,549,210 |

昭和二十六年当り豫算は追加更正豫算により次のやうな現計豫算となつて居ります。

当初豫算の編成にあつては地方財政の現状に鑑み、まして極力経費の節減に努めると共に他方市勢發展上市民の福祉増進に必要経費についてはこれが確保に努めたのであります。が限られた財政力ではあらゆる施策を網羅することは不可能な爲骨格的豫算を編成致しました。

然しその後市債、國庫補助金等増額並びに決定の見透しがつきましたので緊急止むを得ない事業等を追加致しまして前記の如き七〇%増の現計豫算となつて居ります。その主なものを掲げます。

小学校増設、災害復旧事業で一九、九〇〇千円、中学校建設費一五、〇五九千円、小中学校の経費四、四〇四千円、その他一、六一千円、合計四一、〇五九千円、教育費が最高でありまして、これに次ぐのが社会及労働施設費の二五、七三二千円、内容は庶民住宅建設費一、五〇〇千円、引揚者住宅建設費四、〇〇七千円、生活保護費三、〇〇〇千円、保育所建設費二、四七五千円、市営住宅維持費一、四〇六千円その他二、九四四千円であり居ります。

| 科目 | 目 | 豫算額 | 収入額 | 対比 |
|----|----------|---------|---------|------|
| 歳入 | 市税 | 117,776 | 117,776 | 100% |
| | 市債 | 180,654 | 180,654 | 100% |
| | 地方財政 | 1,000 | 1,000 | 100% |
| | 公営企業 | 5,000 | 5,000 | 100% |
| | 財産収入 | 5,000 | 5,000 | 100% |
| | 分損金及負担金 | 80 | 80 | 100% |
| | 使用料及手数料 | 7,800 | 7,800 | 100% |
| | 国庫支出金 | 5,550 | 5,550 | 100% |
| | 県支出金 | 15,996 | 15,996 | 100% |
| | 寄附金 | 2,210 | 2,210 | 100% |
| 歳出 | 議事費 | 4,668 | 4,668 | 100% |
| | 市役所費 | 29,032 | 29,032 | 100% |
| | 警察消防費 | 26,608 | 26,608 | 100% |
| | 土木費 | 21,100 | 21,100 | 100% |
| | 失業対策土木費 | 8,877 | 8,877 | 100% |
| | 教育費 | 5,979 | 5,979 | 100% |
| | 社会及労働施設費 | 25,732 | 25,732 | 100% |
| | 健康衛生費 | 5,550 | 5,550 | 100% |
| | 使用料及手数料 | 7,800 | 7,800 | 100% |
| | 公営企業及財産 | 5,000 | 5,000 | 100% |

十二月末現在収入支出について

各会計別の收支の状況について居ります。

(一) 一般会計の現況は總計で収入は二九、五四九、二一〇千円、支出は二九、五四九、二一〇千円、対比は一〇〇%と居ります。

(二) 特別会計水道費は収入は一、〇〇〇千円、支出は一、〇〇〇千円、対比は一〇〇%と居ります。

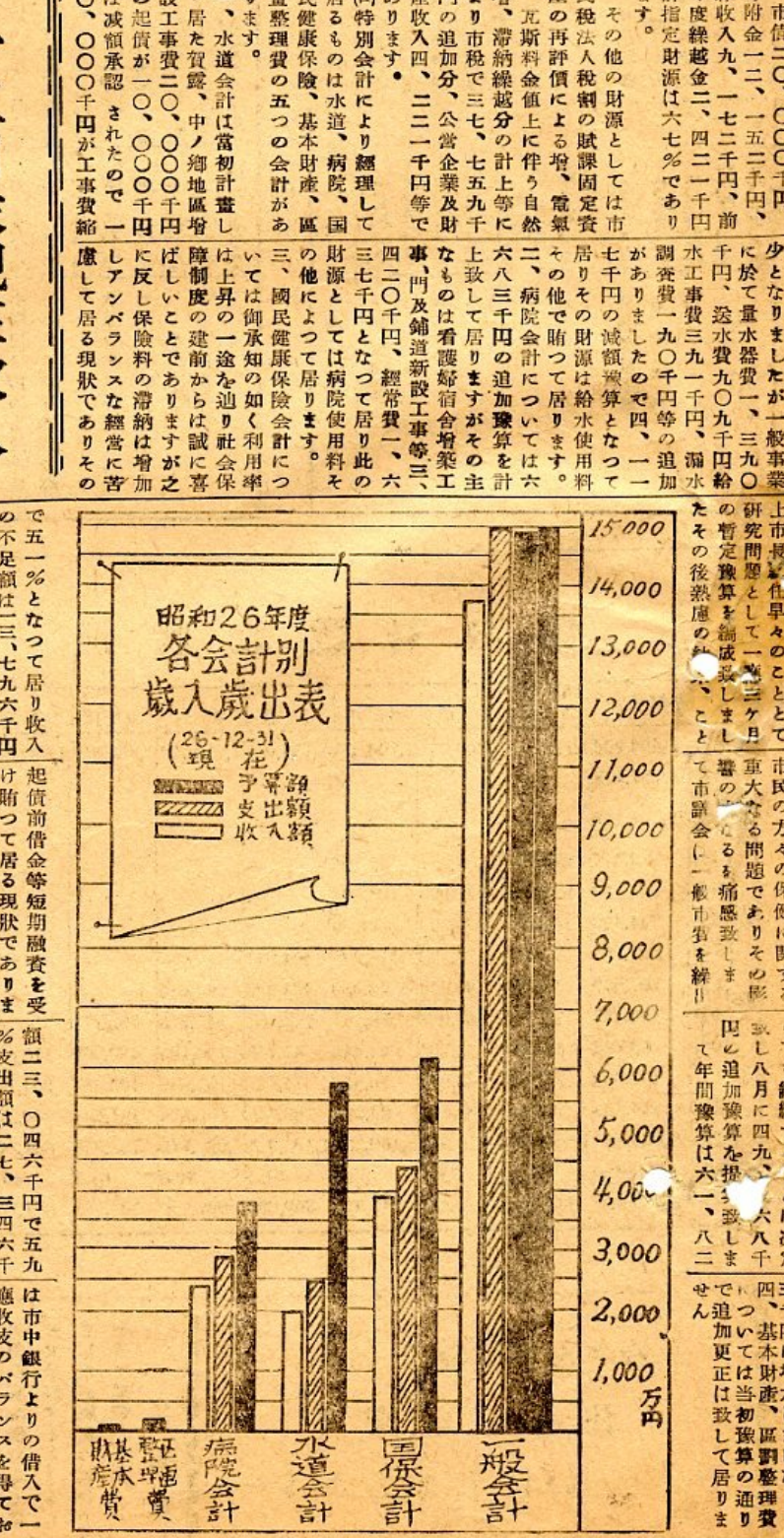
| 科目 | 目 | 収入 | 支出 | 対比 |
|----|----------|---------|---------|------|
| 歳入 | 市税 | 117,776 | 117,776 | 100% |
| | 市債 | 180,654 | 180,654 | 100% |
| | 地方財政 | 1,000 | 1,000 | 100% |
| | 公営企業 | 5,000 | 5,000 | 100% |
| | 財産収入 | 5,000 | 5,000 | 100% |
| | 分損金及負担金 | 80 | 80 | 100% |
| | 使用料及手数料 | 7,800 | 7,800 | 100% |
| | 国庫支出金 | 5,550 | 5,550 | 100% |
| | 県支出金 | 15,996 | 15,996 | 100% |
| | 寄附金 | 2,210 | 2,210 | 100% |
| 歳出 | 議事費 | 4,668 | 4,668 | 100% |
| | 市役所費 | 29,032 | 29,032 | 100% |
| | 警察消防費 | 26,608 | 26,608 | 100% |
| | 土木費 | 21,100 | 21,100 | 100% |
| | 失業対策土木費 | 8,877 | 8,877 | 100% |
| | 教育費 | 5,979 | 5,979 | 100% |
| | 社会及労働施設費 | 25,732 | 25,732 | 100% |
| | 健康衛生費 | 5,550 | 5,550 | 100% |
| | 使用料及手数料 | 7,800 | 7,800 | 100% |
| | 公営企業及財産 | 5,000 | 5,000 | 100% |

市債は、一、〇〇〇千円、前年度繰越金二、四二一、〇〇〇千円、指定財源は六七%であり居ります。

その他の財源としては市民税の賦課固定資産の再評価による増、電気、瓦斯料金値上げに伴う自然増、滞納繰越金の計上等により市税で三七、七五九千円の追加、公営企業及財産収入四、二二一、〇〇〇千円等であり居ります。

(四) 特別会計により整理して居るものは水道、病院、国庫補助金、基本財産、區畫整理費の五つの会計があり居ります。

一、水道会計は当初計上し居るものは水道、中ノ郷地区増設工事費二、〇〇〇千円、起債が一、〇〇〇千円に減額承認されたので、一、〇〇〇千円が工事費給付として居る現況であり居ります。



昭和26年度各会計別歳入歳出表 (26.12.31現在) 額額

市債は、一、〇〇〇千円、前年度繰越金二、四二一、〇〇〇千円、指定財源は六七%であり居ります。

その他の財源としては市民税の賦課固定資産の再評価による増、電気、瓦斯料金値上げに伴う自然増、滞納繰越金の計上等により市税で三七、七五九千円の追加、公営企業及財産収入四、二二一、〇〇〇千円等であり居ります。

(四) 特別会計により整理して居るものは水道、病院、国庫補助金、基本財産、區畫整理費の五つの会計があり居ります。

一、水道会計は当初計上し居るものは水道、中ノ郷地区増設工事費二、〇〇〇千円、起債が一、〇〇〇千円に減額承認されたので、一、〇〇〇千円が工事費給付として居る現況であり居ります。

